

..... 協会 50 周年に思う

協会創立 50 周年に想う



公益社団法人 東京都ペストコントロール協会 顧問

緒方 一喜

協会創立50周年おめでとうございます。50年は長いようで短いようで、創立当時のことが昨日のように思い起こされます。

私の長い勤め先であった(一財)日本環境衛生センターが設立された直後のことです。生物部の新規事業企画の一つとして、消毒業者対象の講習会開催がありました。まだ、PCOという用語が日本には無い時代なので、当時の厚生省の担当技官と相談して、「殺虫殺そ事業営業者技術研修会」と銘打って1965年3月に川崎で開催しました。引き続き、大阪でも開催しました。おそらく同業者が一堂に集まり、勉強会を持った日本で最初の機会であったろうと思います。夜は、例によって懇親会を持ちましたが、その席で業界団体を結成しようとの声が期せずして上がったのです。

これをきっかけに、急速に業界組織化の動きが高まり、いち早く1967年に大阪に「大阪環境衛生コンサルタント協会」が結成されました。引き続き翌1968年に「東京都害虫ねずみ駆除消毒事業協同組合」が結成され、今回めでたく50周年を迎えることになったのです。

この頃には全国組織化の流れも高まり、日本害虫防除連合会も発足し、東京のみならず全国的に組織化が進み、一般社会への浸透を図り、業界の発展を試みてきました。

今日、東京協会に寄せられる「害虫相談」の数は年に8,000件を数えるほどの盛況を見せ、また4年前のデング熱流行の折は、マスコミ報道などで活躍が大きくクローズアップされました。しかし、まだまだPCO産業の社会認知度は、けっして満足できるものではありません。「PCO」、「ペストコントロール」という言葉が、都民の日常語となる日を期待しています。協会あげてなお一層の発展に努めましょう。